

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話０３－４５６６－２５１１

附属機関又は 会議体の名称		平成２７年度 第１回 総合教育会議
事務局（担当課）		政策経営部企画課
開催日時		平成２７年４月８日（木） １６時００分～１７時００分
開催場所		議員協議会室（本庁舎４階）
案件		（１）総合教育会議の概要について （２）豊島区教育ビジョン２０１５について （３）平成２７年度教育目標について
公開の 可否	会 議	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	区長・教育長・教育委員長・教育委員（２名）
	事 務 局	政策経営部長・教育部長・企画課長・庶務課長・学務課長・指導課長・教育センター所長・統括指導主事・企画課企画調整グループ・庶務課庶務グループ

○ 企画課長

定刻となりましたので、第1回豊島区総合教育会議を始めさせていただきます。事務局から2点ほどお知らせさせていただきます。本日傍聴の方がおられますので、御了承ください。また、取材が入っております。日本教育新聞社さんが入っておりますので、写真撮影がありますので、ご了承いただきたいと思います。

会議の開催に当たりまして、高野区長から一言ご挨拶いただきたいと思います。区長よりお願いします。

○ 区長

みなさんこんにちは、この会議の開催につきまして区長として一言ご挨拶申し上げます。教育委員長をはじめ、委員の先生方には教育行政にご尽力いただき、改めてお礼申し上げます。

本日は第1回の総合教育会議を開催させていただきます。この会議は区長と教育委員会が緊密に意思疎通を図り、教育目標を共有しながら、教育行政を推進していくことを目的としております。

この背景には、平成23年滋賀県大津市の、いじめ自殺事件を発端に学校、教育委員会と首長の対応が問題となったことがあります。

このため、国は教育再生実行会議を設置しまして、教育委員会制度の在り方など、教育行政の改革について検討いたしまして、国に対して様々な提言を行いました。本区の教育委員会にも視察に訪れ、実際の会議を傍聴したと聞いております。

こうした提言を踏まえまして、約60年ぶりに教育委員会制度を改革する改正地方教育行政法が4月1日に施行されました。その制度改革の一つとして、法に基づき、首長が総合教育会議を設置することとなっております。

本区におきましては、これまでも教育委員会と一体となって教育行政を進めてまいりました。特に安全・安心なまちづくりを目指す、セーフコミュニティの認証、これは平成24年度になりますが、これと併せて朋有小学校、インターナショナルセーフスクール認証も取得いたしました。

豊島区のいじめ防止対策推進条例の制定、あるいはがんに関する教育、歯と口腔に関する教育など、先ほどのいじめ防止についても、虐待と暴力に対し毅然とした姿勢を示すと、三田教育長と私と連名でこの共同宣言をさせていただいておりまして、さまざまな教育施策を、区と教育委員会が一体となって進めてきました。

また、3月23日の新庁舎の落成式の際には教育委員の皆様にもご出席いただきました。10階にあります豊島の森は三田教育長を中心として教育委員会が設計に関わりまして、子どもたちの意向を十分に生かしてかつての豊島区の自然を再現して、子どもたちが自然環境を体験できる学習ルートも整備したわけであります。人と自然、まさに歴史と文化が息づく、先人たちがこの豊島に思いを込めたことを誇りに思うような、そのような新庁舎の完成ではないかと思っています。まさに区長部局と教育委員会の緊密な連携の成果だと思っています。

今回の新庁舎は、教育委員会のご意見を十分に聞きながら、特に次代を担う子どもたちに、どういう環境をつくるべきか、環境、文化、防災また子育てというようなことを、一つの大きなテーマとした新庁舎であります。このような大きな成果で示されたのではないかと思います。

今後は、この総合教育会議におきまして、区と教育委員会は、より一層連携して、教育施策に取り組み、まさにオール豊島としての英知を結集いたしまして、教育都市としまを実現することを固く決意いたしまして私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

○企画課長

引き続きまして、菅谷教育委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。菅谷委員長よりしくお願いいたします。

○ 教育委員長

ご紹介いただきました教育委員長の菅谷でございます。

第1回の総合教育会議の開催に当たりまして、まずは大変お忙しいところ会議を開催いただきました区長部局のみなさまに改めてお礼申し上げます。

さて、4月3日に第1回定例校長会を開催しましたところ、高野区長様をはじめ、副区長様にもご臨席をたまり、平成27年度の教育活動がスタートできたことを心より感謝申し上げます。

本年度は、新教育委員会制度の変更に伴う総合教育会議の設置及び策定した豊島区教育ビジョン2015、豊島区教育振興基本計画に基づく教育活動がスタートする年であります。派手なパフォーマンスや打ち上げ花火ではなく、日々実直に教育を積み重ねて、教育都市としまの名にふさわしい、幼児、児童、生徒の生きる力の育成に取り組んでまいりたいと思います。

また、後程説明がありますが、今年度2月には朋有小学校と富士見台小学校がインターナショナルセーフスクール認証式を予定しております。

また、区立小学校の児童3年生1300名が新庁舎を訪れ、10階豊島の森で環境学習に取り組みます。

さらに秋田県能代市との教育連携、幼小中一貫教育連携プログラム、学校図書館司書を活用した読書活動など、子どもたちの学びの充実化を図ってまいります。

先日の新規採用教員辞令交付式では、新規採用教員にいじめの根絶を宣誓させ、読売新聞でもとりあげられました。

今年度も豊島区の教育はマスコミをはじめ、注目を集めるかと思いますが、三田教育長を中心に教育委員、教育委員会事務局、各学校が一体となって、さらなる発展のため、全力で取り組んでまいります。これまでと同様のご支援をお願いいたします。

以上で簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 企画課長

菅谷教育委員長どうもありがとうございました。

それでは続きまして、委員の皆様をご紹介申し上げたいと思います。みなさまのお手元に委員等名簿をお配りしているかと思いますが、ご参考いただきながら耳をお貸しいただければと思います。

まず、総合教育会議の委員のご紹介でございます。会長は高野 之夫（たかの ゆきお）豊島区長でございます。

そして、委員の皆さままでございますが、菅谷 眞（すがやまこと）教育委員長でございます。

続きまして、千馬 英雄（せんば ひでお）教育委員でございます。

同じく渡邊 靖彦（わたなべ やすひこ）教育委員でございます。

最後に、三田 一則（みた かずのり）教育長でございます。

○ 企画課長

つぎに事務局の職員をご紹介申し上げます。

政策経営部長の斉藤 忠晴（さいとう ただはる）でございます。

教育部長の天貝 勝己（あまがい かつみ）でございます。

庶務課長の兒玉 辰哉（こだま たつや）でございます。

学務課長の井上 一（いのうえ はじめ）でございます。

指導課長の清野 正（きよの ただし）でございます。

教育センター所長の藤原 孝子（ふじわら たかこ）でございます。

指導課の統括指導主事の齊藤 光司（さいとう こうじ）でございますが、本日は公務でご欠席でございます。

統括指導主事の細山 貴信（ほそやま たかのぶ）でございます。

最後にここまで進行させていただきました企画課長の佐藤でございます。

教育委員の嶋田 由美（しまだ ゆみ）委員もおられますが、本日は欠席でございます。お名前だけご紹介申し上げます。

以上でご紹介を終わらせていただきたいと思います。

それでは、議題のほうに入らせていただきたいと思います。会長の高野区長、以後の進行をお願いいたします。

○ 区長

それでは、議題の第一としまして、総合教育会議の概要につきまして、事務局より説明をお願いします。

○ 庶務課長

それでは、お手元の資料１、総合教育会議の概要につきましてご説明申し上げます。

はじめに会議設置にいたるまでの経緯でございますが、平成２３年１０月に起きました滋賀県大津市のいじめ自殺事件を発端に教育委員会の隠ぺい体質が問題となりました。このため、平成２５年１月、教育再生実行会議を設置し、いじめ問題の対応など教育委員会制度のあり方について検討を行いまして、国に対して提言を行っております。

この提言を踏まえまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が、この４月より新たに施行されまして、この４月より、新たな教育委員会制度が始まっております。

今回の改正は教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化、地方に対する国の介入の見直しなど制度の抜本的な改革が行われています。

このうち、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化に関しまして、総合教育会議の設置が各自治体に義務づけられました。

教育委員会におきましても区長部局、企画課と、昨年１１月から、総合教育会議などの教育委員会制度について検討を行い、その都度、教育委員会にも報告しています。机上の右側に御参考までに報告しました資料を置いております。

また、ご参考までに、この総合教育会議の開催状況でございますが、２３区では、現時点では、６区のみが予定しておりまして、その中でも豊島区が１番早い時期に開催して、２３区では初めて開催された会議でございます。

次に、会議の目的でございますが、法の規定に基づきまして、区長と教育委員会が円滑に意思疎通を図り、教育目標を共有しながら、連携して教育行政を推進していくため、区長が総合教育会議を設置することとしております。

次に、協議事項ですが、（１）大綱の策定、（２）教育を行うための諸条件の整備その他地域の実情を踏まえた教育・学術および文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策、（３）児童生徒の生命または身体に現に被害が生じ、まさに被害が生ずる恐れが見込まれる場合など、緊急の場合に講ずべき措置、（４）その他教育目標を達成するために必要な事項となっております。

最後に、今後のスケジュールでございます。次回は５月から６月初めごろに、第２回を開催したいと考えてございます。内容は、大綱、それから、教育委員会で策定いたします教材整備計画の素案についてもお諮りいただきたいと思いますと考えております。

その後、12月ごろ第3回を予定してございまして、来年度、28年度の新規事業などに伴う予算部分につきましてご審議していただきたいと考えてございます。説明につきましては以上でございます。よろしくお願いします。

○ 区長

説明が終わりましたので、遠慮なくご発言いただきたいと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは次の議題に入りたいと思います。豊島区教育ビジョン2015につきまして、事務局よりご説明申し上げます。

○ 庶務課長

それでは、お手元に資料2と書いてございますカラーのパワーポイントの資料がございます。画面のほうもご覧いただきながら参照いただければと思います。

「豊島区教育ビジョン2015」につきまして説明申し上げます。本年から5年間教育都市としまの大改革を推進する「豊島区教育ビジョン2015」でございます。4月から、豊島区の教育を大きく変えてまいります。「教育ビジョン2010」は88の事業を実施し、大きな成果を上げ、到達点に立ちました。

「教育ビジョン2015」はさらに高い志と目標を掲げ、教育都市としまの高峰に挑みます。はじめに、「教育ビジョン2015」の策定経過ですが、本区では、「教育としま改革プラン21」、「豊島区教育ビジョン」を経まして、平成22年に「豊島区基本計画」とリンクした「豊島区教育振興基本計画」を他の自治体に先駆けて策定いたしました。この前半にあたる「教育ビジョン2010」では、5年間で88の事業を実施いたしました。これに続く「教育ビジョン2015」は、5年間で125の事業を実施し、教育都市としまの実現を図ります。

「教育ビジョン2015」の策定に当たりましては、豊島区教育ビジョン検討委員会を設置し、保護者、町会、民生委員の方々など、地域の方々と様々な検討を行いました。

特に、小中一貫教育につきましては、本区が進める幼小、小中の円滑な接続を重視する幼小中一貫教育プログラムの取り組みを支持する意見が多く寄せられました。

また、コミュニティスクールにつきましては、国の動向を見きわめながら、学校運営連絡協議会の声や、学校経営に反映される制度を強化し、いつでも対応できる体制整備を進めていくことを確認いたしました。

また、隣接校選択制につきましては、開かれた学校づくり、学校の説明責任などを確認いたしまして、残された課題につきましては、引き続き検討を進めていくこととしました。

また、パブリックコメントでは、幅広く前向きな意見が91寄せられました。こうした意見を反映した「教育ビジョン2015」は、学校、保護者、地域、そして、区長部局と教育委員会が一体となった、まさに、オールとしまの英知を結集して策定されたものです。「教育ビジョン2015」は確かな学力の育成などにもとづき125の実施事業で構成されています。

本日は、この中から大きく豊島区教育改革を推進する重点事項について各課から説明させていただきます。

○ 指導課長

それでは説明させていただきます。確かな学力の育成の重点、本区が進める都市型環境教育が大きく前進をいたします。豊島区は日本一の高密度都市です。山もなければ川もなく緑も少ないまちでございます。武蔵野台地の自然を残していた根津山の場所に待望の新庁舎が誕生いたしました。

そこで、屋上1,000平方メートルに区立小学校約7,200人の夢を実現しようと、豊島の森を活用した都市型環境教育をスタートさせることといたしました。

ランドスケープ平賀達也先生に監修制作いただきました DVD 豊島の森物語を活用しまして、新庁舎10階「としまの森」、雑司が谷、目白小学校、学習院、そして、各学校に植樹しました学校の森、緑のネットワークについては、深く学び、ふるさと豊島を愛する心情をはぐくんでまいります。

今年度小学校3年生、1,300名全員が新庁舎豊島の森を訪れる予定ですが、議場や災害対策センターなども活用いたしまして、小学校3年生だけにとどまらず、広く教育活動に生かしてまいります。

では、つぎにまいります。豊かな人間性の育成の重点、今年度から、いじめ防止対策が大幅に強化されます。

本区では昨年10月、豊島区いじめ防止対策推進条例を施行しました。この条例に基づき、昨年度から各学校では、学校いじめ防止基本方針を作成するとともに、いじめ対策委員会を設置しました。

本年度さらに心理検査ハイパーQ Uを年間2回実施しまして、問題の積極的な解決に当たります。区独自の学力調査とリンクさせまして、集計分析できるシステムに変更し、4月から有効活用してまいります。学習指導と生活指導両面から、児童生徒の状況をきめ細かく分析しまして、問題解決に生かしてまいります。

いじめの予防的な指導を充実させ、いじめは心のけがというインターナショナルセーフスクールの考え方を全校規模で共有いたしまして、データに基づく分析的で理にかなった指導をしてまいります。

つぎに、健やかな心と体の育成の重点、インターナショナルセーフスクール国際認証の拡大を進めてまいります。今年度は朋有小学校が再認証、富士見台小学校が認証に挑戦します。

朋有小学校では地域や保護者の方々から寄せられました450件を超える情報を子どもの安全点検マップにまとめまして地域の皆様にも配布するなど、情報の共有に努めてまいります。

また、富士見台小学校では、区民ひろば富士見台との連携を深め、学校家庭地域が一体となった取り組みを進めてまいります。

本年度、2月4日に新庁舎議場を使わせていただき、国内のセーフスクールサミットをよびかけ国内外の推進校が一堂に会し、安全安心な学校づくりのリーダーとしてアピールをいたします。また、両校の成果を全小中学校に生かした安全安心な学校づくりを強化してまいります。

○ 学務課長

次に、「6. 未来を切り拓く豊島の子の育成の重点」、「21世紀の教育情報化に対応した学校ICT環境整備」により、豊島区内の小中学校の授業と学習のモデルチェンジ、つまりアクティブラーニングを推進します。とりわけ、タブレット型パソコンの学校図書館での活用を推進することにより、学校図書館の情報センターとしての機能を一層充実させ、大きな改革に取り組んでまいります。

次に、「4. 教師力の向上と教育環境の整備」の重点、指導要録の電子化を実現させた「校務支援システム」の導入で、教員が子どもと向き合う時間をつくり出します。小中学校の教員が扱う、児童生徒の出欠情報や成績情報、指導要録の健康診断などの保健情報、教育課程の実施状況など、様々な情報については、これまでは、手書きであったりパソコン入力でも同じデータを帳票ごとに入力しなければなりませんでした。

それが、校務支援システムでは情報の二次利用、転記作業の簡易化などで、データの効率的な活用、各種資料作成の省略などを図ることが可能となります。本年4月より全小中学校で稼働します。

校務支援システムを導入することで、時間軽減が実現します。教員の事務負担の軽減を図り、教員が子どもと向き合えるゆとりの時間を確保します。本区の校務支援システムの

特色としては、電子化した指導要領の原本化がございます。これまで紙ベースで作成し、紙ベースで保管していたものを電子化し保管したものを原本とすることとしました。電子化した指導要録の原本化は都内では初でございます。京都市に次いで全国で2番目となります。

○ 教育センター所長

続きまして、教師力の向上と給付環境の整備の重点、深刻な不登校対策強化で改善を図ります。学び直し、やり直しのできる柚子の木教室の大幅な充実を図ります。

不登校が依然として増え続けています。不登校の子どもたちは、学校にいけないことへの孤独・不安、学力がつかないことに悩んでいます。学校にいけないため学びの連続性が絶たれる現実がございます。

柚子の木教室には不登校の子どもたちが約30名ほど通っています。学習、スポーツ、調理実習、保育園実習、茶道教室など、いろいろな活動を行っています。柚子の木教室は子どもたちにとって、いつでもやり直せる、自信を持たせる場となっており、3年連続全員が高校に合格しました。しかし、不登校の中には、ひきこもり状態の子どもや家庭環境の改善が必要なケースもございます。

今年からスクールソーシャルワーカーを非常勤化し、不登校対策を強化します。心理検査ハイパーQUを活用したり、不登校対策会議で具体的な対策につなげたりして参ります。また、今後は新たな柚子の木構想として、ICTを活用した学力補充と出席日数の認定等を検討してまいります。

次に、3つの特別支援教育の充実策により、本年、豊島区の特別支援教育が大きく変わります。

今、発達障害の子どもへの支援が大きな課題となっています。障害が理解されず、不登校やいじめの原因になったり、学級崩壊の原因といわれたりしています。実際、困った子と言われる子どもたちは、困っている子どもたちであり、特別な配慮が必要とされています。

そこで教育委員会は以下、3つの強化策を講じてまいります。

1つ目は、通級指導学級の教員による学校巡回指導が始まることです。

2つ目に、新たな通級指導学級拠点校の開設をすることです。

3つ目に、これまでは、知的障害児の固定学級のみでしたが、新たに自閉症、情緒障害の固定学級の開設をしていくことです。

個々の障害に見合った適切な支援をしていくために、就学相談体制教育支援員、教室環境整備の充実を確実に進めてまいります。

○ 庶務課長

それでは、次に、区長部局との連携につきまして、ご説明いたします。

教育ビジョン2015の大きな特徴は、教育委員会と区長部局との連携です。その一つが放課後対策の充実です。

現在、教育委員会では子どもスキップを活用し、放課後子ども教室を実施、中学生の補習授業も行っています。今年度からは、子どもスキップで、すべての小学校で補習授業を行うことを計画しています。

また、学習・スポーツ課では、家庭がよくなれば子どももよくなるという目的で、保護者に対して、家庭教育に関して研修を行っています。

これらの事業を区長部局と教育委員会が一体となって取り組むことにより、より一層豊かな人間性、体力学力の向上を図ります。

次に重点としての小中学校の改築です。

現在、目白小学校の改築で、定型化された21世紀の学校改築の在り方として、緑豊かで環境負荷を減らすエコスクール、学びの拠点としての学習情報センター、ICT環境の充

実、防災拠点の充実、周辺まちづくりとの調和などを重要なコンセプトを生かして、池袋第三小学校、池袋本町小中連携校の改築を確実に進めております。

今後、巣鴨北中学校、池袋第一小学校、千川中学校の改築を推進してまいります。

池袋第三小学校は2階バルコニーを観覧席として、広い校庭を確保します。また、住宅地との調和に考慮したり、寄贈された慈母ふくろう像も活かして区民待望の校舎が平成28年12月に竣工いたします。

本区で初めての池袋本町地区校舎併設型小中連携校は東京オリンピック・パラリンピックの前に竣工し、豊島区では一番大きい1万平米のグラウンドで、公式のサッカー場も整備され、地域からも大変好評いただいております。また、学習情報センターや家庭科室、屋上プールは、小中学校がシェアリングしまして有効活用します。校舎北側には豊島区発祥のソメイヨシノの桜並木を整備します。現在、校舎昇降口にはステンドグラスの設置を計画しています。さらに防災の一地点として整備し、平成28年8月に工事が完成します。

最後になりますが、教育は、夢を作り、人を作り、そして、この国の形を作ります。教育の営みは、倦まず、たゆまずです。決して派手ではなく、パフォーマンスでもありません。意図的、計画的、系統的に日々実直に繰り返されてこそ、継続した力を得るものです。

その意味で、本ビジョンは、生まれたての夢をあたえそうな、人を育てそうな器ではありません。区長部局と強力な連携のもとに、子どもも教員も学校も、そして、教育関係者や地域の方々の英知をも結集して、施策や事業の達成に向かうとき、本計画に本格的に入魂できるものと考えております。

これらのエッセンスが含まれました、豊島区教育ビジョン2015、こちらが製本されたものでございます。それから、パブリックコメント、93件のパブリックコメントも机上に配付しております。

以上で、ご説明を終わります。

○ 区長

説明が終わりました。それでは、この第2の議題であります教育ビジョン2015につきまして、ご質問ご意見を教育委員の方からお願いいたします。

○ 教育委員長

2015の作成に当たりまして、教育委員会に4回にわたりまして審議し、納得できる内容になったのではないかと思います。全体として2010年から2015年までの社会情勢を非常によく考えて取り入れた内容になっています。

今、ご説明にありましたいくつかの課題についても、現行の活動の中で、課題を克服できるような大きなビジョンがたてられたのではないかと思います。その中でも特に感じたのは、豊島区の場合は、総合教育会議以前から、すでに教育長、区長とうまく連携が取れていて、意思疎通も図られていると、教育委員として非常に感じています。

また、教育長と教育委員会の関係も非常に大変率直な意見を出し合っていますので、区長も教育長も教育委員会の考え方もよく意思疎通が図られ、共通の目的に向かって進んでいけるのではないかと期待しています。

また、4月1日の施行に関して、この早い時期に総合教育会議をやっただき、区長の教育に対する意気込みを感じています。

新庁舎の中に豊島の森という、豊島区の教育の中で大きく活用できる施設を取り入れていただいたというのは、区長の決断がなければできないと、教育委員会として感じています。今後とも課題の解決に向けて、ご相談をしたいと思います。

○ 区長

ありがとうございます。それでは千馬委員お願いします。

○ 千馬委員

総合教育会議委員としての決意表明になりますが、そのことも含めて2点申し上げさせていただきます。

まず1つは教育ビジョンですが、私も現場で2010に関わらせてもらいました。校長にとって指針となる重要なプログラムです。こういう指針となる内容の重要な施策を、学校、区、教育委員会が一体となって理解して、定着する、そういうことが必要だと思っています。私も教育委員を拝命して、この進捗を適正に進めるように頑張ってまいりますので、区長も応援のほどよろしくお願いいたします。

2点目がパブリックコメント、今回幅広い層から非常に数多くの声をいただきました。この教育ビジョン2015の中にはそれぞれ大事な視点がありますので、私はこの区民の声を、関係機関の声を大事にして、より教育効果が高まるように委員として頑張りたいと思います。

どうぞ区長をはじめ、事務局の皆様には応援していただけたら幸いでございます。

○ 渡辺委員

委員の渡辺です。私からは委員として1点だけ、すでに教育ビジョン2010が実施されていて、ここにいらっしゃる教育関係者の方だけではなく、保護者、区民が一般的に、その実施効果を身を感じていることが、この2015に対してのパブリックコメントに反映されているのではないかと思います。地域の方とお話ししても、大変期待しているといわれているので、充実しているのではないかと思います。

特に、社会がめまぐるしく動いているという話が出るかと思いますが、家庭環境もめまぐるしく変わってきていまして、子どもたちの健全な育成を考えていくと、家庭のありようも非常に大切になってきていまして、2015で言っている保護者、町会、地域との連携も、子どもたちの育成のため重要なポイントであり、そういうことがまさしくここでうたわれています。

この2015であらわされている内容が確実に実現していき、豊島区の子どもたちが未来を切り開いていく力と同時に、豊島区を誇りに思って、この区に生まれて、豊島区に生まれてよかったなと成長していくことを願っておりますので、区長をはじめとして、区長部局の方にもご協力いただきまして、実現することを祈っておりますので、よろしくお願いいたします。

○ 区長

ありがとうございました。それでは、区長部局からも一言お願いします。

○ 政策経営部長

政策経営部長の齊藤です。私も総合教育会議をきっかけに、教育委員会と区長部局との連携が、さらに進展できるようになることを期待しています。特段、先ほどの説明の中で、子どもスキップが全校配置とありました。放課後の子ども対策ということで、さらに緊密な施策の展開が図れるのではないかと、そういうところを特に関心をもって聞いておりました。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 企画課長

企画課長佐藤でございます。豊島区は今まちづくりという面でも大きく変わろうとしています。オリンピック・パラリンピックなどもございまして、国際化も進展していくと思っています。様々な都市環境等が変わっていく中でございまして、やはりその子どもたち、未来を担う子どもたちが、豊島に生まれて、豊島に育ってよかったなと思ってもらえるように、環境の整備が重要だと思っておりますので、そういった視点がしっかりとビジョンに盛り込まれていると感じました。

ぜひこれからそれを実現していけるようオール豊島で頑張っていくように進めてまいりたいと思います。

○ 教育委員長

本日欠席の嶋田委員からも、この会議にコメントをいただいております。教育ビジョン2015の策定に嶋田委員も参加されまして、十分に賛成いただいております。今回の議題とはずれますが、嶋田委員は、豊島区内の大学と豊島区の教育行政の連携が十分に図られていて、非常に感謝をしているということでした。特に学習院では、幼小中の子どもの教育も視野に、学生のボランティアを実施していただいております。養護学級の現場にも学生が積極的にボランティアとして参加できる場も提供していただき、感謝していることを区長に申し上げてほしいと言われております。

○ 区長

ありがとうございます。ただいまご意見要望等をいただきました。本日、委員の皆様から頂戴したご意見については、この場で議論するのではなく、今後開催する会議の中で進めていきたいと思います。

私から一言、菅谷委員から発言のありました「豊島の森」ですが、子供たちが計画を立て、教育委員会もすべて、子どもたちがふるさとと思えるような1,000平方メートルの自然環境を、新庁舎に位置づけたというのは、これからの次代の子どもたちへ継続しながら、豊島区というもののよさを、歴史を振り返ったり、あるいは自然環境を学んだりする中で、感じられるのではないかと思います。

教育委員会が、ランドスケープの平賀先生とともに「豊島の森」構想を検討した、他の自治体にはないものであり、そして、活用するというのは、もちろん授業の一環として取り入れていただきますが、今回の新庁舎は土曜日曜も開庁し、豊島の森も開庁します。保護者と一緒になって勉強したり、いろいろなことを学び、いろいろなテーマをお子さんと一緒に考えたり、そういう意味でも今回の新庁舎の取り組みは画期的であり、今までにはない発想だと思います。単なる庁舎ではなくて、いろいろな形の中で区民との接点とか、特に子どもたちへの接点ができれば、今後のいろいろな教育の面からあらゆる面に、そういう思いが強くなりました。

今後、総合教育会議では、それぞれの委員の方から言われたことをご意見要望等々を含めながら、生かしていくような形にしていきたいと思います。

それでは次の議題に入りたいと思います。平成27年度の教育目標の説明につきまして、事務局よりお願いします。

○ 指導課長

はい、では説明させていただきます。資料3をお取り出しください。

平成27年度の豊島区教育委員会の教育目標でございます。こちらの資料をご覧くださいと、下線が引いてあるかと思いますが、教育ビジョン2015に基づき修正した個所でございます。

まず1ページですが、1 豊島区教育委員会の教育目標の中に、「我が国の歴史と文化を尊重し、国際社会に生きる日本人、豊島区民となることを期して行わなければならない。」と記述させていただいております。

では、恐れ入ります。1枚おめくりいただきまして、2ページをご覧ください。「2 平成27年度豊島区教育委員会の基本方針」でございます。

「基本方針1の1、人権教育及び人間教育の推進」でございます。（3）をご覧ください。いじめ防止対策推進法、国の法律及び、豊島区のいじめ防止対策推進条例の制定を踏まえ、いじめや不登校などの問題解決、自立支援、互いに認め合い、共に学びあえる学校づくりの推進を目標に掲げてございます。

項目の2番でございます。確かな学力の定着と豊かな個性の伸長（2）をごらんください。学習状況に関する調査結果の分析、事業改善、推進プランを活用しまして、子どもたちの資質や能力の伸長を図ってまいります。

次のページ、3ページをご覧ください。（10）でございます。高密都市において、環境負荷の少ない持続発展が可能な社会を目指し、環境に配慮した施設設備を活用して、環境に対する関心を高め、人としての生き方、あり方を育む環境教育を推進するとしています。

項目3でございます。家庭地域との連携、協働と学校経営の改革の推進でございます。

（3）をご覧ください。体罰は暴力であるとの認識のもと、全校員を挙げて体罰を根絶し、地域に信頼される学校づくりを推進するとしております。

本区におきましては、体罰はゼロを持続させる意味で、改めて目標に掲げさせていただいております。（4）校務支援システムを運用した指導要録の電子化など、情報管理の徹底、校務処理の効率化を図り、教員がゆとりをもって、児童生徒や保護者と向き合うことができる学校づくりを推進するとしています。

次、4番、安全・安心な教育環境の整備充実をご覧ください。（1）でございます。豊島区が認証取得したWHOのセーフコミュニティの取り組みを踏まえ、すべての学校において安全・安心な学校づくりを推進する。また、インターナショナルセーフスクールの認証、再認証取得に向けて取り組みの一層の充実を図るとともにその取り組みの成果を全校に広め、安全教育の充実を図る。

おそれいます。4ページをご覧ください。項目の5でございます。文化スポーツ健康に関する教育の推進でございます。（2）をご覧ください。「豊島の森物語」、「としまみどりの環境教育プログラム」など、区独自の豊島ふるさと学習プログラムを活用して、地域の歴史や文化芸術に学び、郷土を愛する心を育てる、としています。

（3）では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、オリンピック教育を推進するとしてございます。また、（4）豊島区がん対策推進条例及び豊島区歯と口腔の健康づくり推進条例も踏まえ、がんの仕組みや予防、歯と口腔の衛生に関する正しい知識と生活習慣の習得により、健康教育を推進する。としてございます。

説明は以上でございます。よろしく申し上げます。

○ 区長

ただいま、指導課長より27年度の教育目標について説明いただきました。委員の皆様からご意見等ございましたら遠慮なくどうぞ。

○ 教育委員長

いくつかの重要な項目について聞かせていただきましたけれども、その中で、確かな学力の定着、これは教育の中で重要ですが、豊島区は能代市と教育連携をしていますが、これは区長に足掛かりを作ってもらい、それが非常によく機能してまして、学校の授業内容について拝見する機会があるのですけれども、明らかに能代市の状況も取り入れた積極的な授業ができています。

まだ完成しているわけではないですが、目に見えてきています。連携というのはいい考え方であり、今後とも続けていければいいと思っています。以上でございます。

○ 千馬委員

この教育目標はどの区市町村も策定して実践しているところでございますけれども、豊島区の特徴がかなりこの中に組み込まれていて、読みながら非常に興味しているところですが、特に3点ありがたいなっていう、お礼の意味も込めて3つの点をお話しさせていただきたいのですが、まず2ページのいじめ防止のところ、全校をあげて豊島区の協力でハイパーQUを実施させていただいているのですね。

これを今回2回実施するのが非常にありがたいし、非常に効果があがるのではと期待しています。私自身もそういう効果が上がるように頑張っていきたいと思いますが、また、ぜひ継続していただけたらありがたいなという感想を持っています。

それから2点目、3ページですが、インターナショナルセーフスクールですね。私も朋有小に参加させていただきましたが、素晴らしいと感じているところです。また、今回2校目の富士見台小ですね。これもまたセーフスクールとして認証させていただく方向でご意見をいただいていることは、非常に私としては安全教育を進める上で多大な効果を生み出すものと期待しています。ぜひ認証できるように、私も頑張りますので、区長にも応援していただけるとありがたいです。

さらに最後に3点目、4ページですが、中央図書館を主体に、図書館経営会議の委員として2年間やらせていただいたのですが、特に学校図書館の充実ですか、非常に豊島区進んでいるように思います。特に図書館司書を配置していただいて、各学校とも現場にいて司書がいるといいなと思う時期があったのですが、全校配置ということで非常に助かっています。

そういうお声を聞いていますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思っています。以上3点でございます。

○ 渡辺委員

教育目標のはじめのところに「普遍的かつ個性的な文化を創造し、豊かな社会の実現をめざし」とありますが、豊島区の場合、アニメイトもあって、非常に文化的にも多種多様な方向に触手が這っているといえますか。子どもたちもそういうことに大変関心をもって、豊島区はいろいろ情報を子どもたちが得られる状況にあると思います。

教育委員会のやるべきことというのが基本方針にあると思うのですが、教育委員会だけではできないことがあります。3番目、4番目の家庭地域との連携とか安心安全の環境の整備とか、教育委員会だけでなく、区全体としてやっていかなければ、実現できないことではないかと思っています。

先ほど千馬委員の話にもありましたけれども、セーフコミュニティ、セーフスクール等を例にあげて、区長部局からもご協力をいただいて、本当に子どもたちが豊島区に生まれて育ってよかったなと実感をもってもらえるような活動になれば、ありがたいな思っておりますので、ご協力のほどお願いします。

○ 区長

ただいま3人の先生から大変貴重なご意見、異口同音に言われたことは教育委員会だけではできないことを区長部局としっかり連携を取ってやっていくという、ご意見をいただきました。

まさにこの会議がこれからこういうような形で展開をしていく、今後、子育て、教育等々について区長部局もいろいろサポートしていかなければならない課題をしっかり受け止めて、なかなか今までは縦割りではないのだけれども、なかなか教育委員会には、これまで踏み込んでいくことも難しく、教育委員会のことで、任せておけばいいということもあったけれども、気が付けば、そういった面も含めながら、いろいろな課題の中でこういう流れができてきたというような形では、教育委員会とまさにそういう目的でこの会議を進めていくという意味で大変いいご意見を頂戴しました。

たとえば、セーフスクールですね、教育委員会だけではなくセーフコミュニティとの強い連携があるわけでありまして、この連携も生かしていかなければいけないわけで、教育環境等々、やはり教育委員会だけではなくて、区長部局との全体的な話の中で、本当に我々ももっともっと積極的に進めていかなければならない、そういう問題、まず意識を持つことが大事だと思うので、今回いただいた意見を大いに活かしていきたい、そんな思いをしております。それでは最後に三田教育長から。

○ 教育長

ありがとうございます。まずは第1回目ということで、おそらく全国でも先頭を切った総合教育会議であったのではないかと思います。そういう意味で、高野区長の進取の気鋭といえますか、やはり次代を拓く意味での1番が大事だと強く感じています。また、ありがたくも思っております。

それで、私どもがご提案させていただいたビジョンについても、教育目標につきましても、4月から豊島区の教育は大きく変わります。

そういうことを私ども重点的に説明させていただきましたが、教育委員会事務局だけではなく、学校、地域の声も反映させて、私どもの本気度というか、本気でやるという気持ちを一層感じていただければ大変ありがたいし、また、強い連携の思いでいっぱいです。区長部局と本当に手を携えて豊島の子どもたちをしっかりと育てていくということで頑張っ

てまいりたいと思いますので、今後ともご指導のほど、よろしくお願ひしたいと思います。たくさん言いたいことはございますが、結論から申し上げますと、そのことでございました。本日は本当にありがとうございました。

○ 区長

本当に限られた短い時間ではありましたが、初めてこのような会議を開催させていただきました。この会議の冒頭に申し上げたように、会議の目的をしっかりと踏まえて、すべては子どもたちのために、教育都市としまを実現したいと思います。

次回は5月6月でしょうか。

○ 庶務課長

次回の予定でございますが、5月から6月初めを予定してございます。第2回の総合教育会議につきまして、改めて委員の皆様にご連絡申し上げます。

なお、説明の中で、幼小中一貫教育プログラムと申し上げましたが、正しくは幼小中一貫教育連携プログラムでございます。大変申しわけございませんでした。以上です。

○ 区長

以上でございますか。本日は本当にありがとうございました。

短い時間ではありますが、本当に内容の濃いご意見をいただきました。今後は皆様のご意見を踏まえ、どう区長部局も取り組んでいくかということも含めて、意見交換しながら内容のある会議を進めていきたいと思っています。ありがとうございました。